

# 編集後記

今月は六人の先生にへ笑う〜というテーマで書いていただきました。

「笑う」というと、私には、『保育者の地平』（津守真著、ミネルヴァ書房）の中で、笑っている子どもの姿が浮かびます。

とりわけ、M子の話は印象的でした。卒園後、訪ねてきたM子は、園庭や遊具、津守氏の姿を見ても、かつてのそこでの生活を思い出せない様子でした。けれども、その日、氏と一緒にシーソーに乗り、ただひたすら笑いあっていた最中に、「ここきたことある」といったのです。以前に、氏と笑いあったことが突然甦ったのです。

氏は、子どもがゆきづまったとき、その子と本気で向きあう覚悟をする必要がある、覚悟を決めるとその日からすべてが変わるのは不思議である、といっています。そして、そんなとき、いままでに見せたことのない「笑い」の表情を見せてくれる、それは、その子の、ようやく理解された、という気持ちだったのだろう、とも。

当時、M子は排泄の問題や恐怖の問題をかかえていました。氏が、M子に本気で向きあうことで、M子が笑います。そして、二人は周囲を忘れてひたすら遊び、その中で笑いあったのでした。

M子が覚えていたのが、物や人や場所ではなく、二人で笑いあった体験であったことが、私の心に残りました。

(A)

## 幼児の教育

第九十七巻 第九号

(一九九八年九月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十年九月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三二五三九五五―一六六一三(営業)

〒〇三二五三九五五―一六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。